

2019年度 光塩女子学院 2月1日	総合	受験番号	氏名	得点
--------------------------	----	------	----	----

問 1	(1) 高い音 工	低い音 工		
	(2) (あ)	100 %	(い)	91 %
	(3) 表2より、ピアノからの距離が370cmのとき、10cmと比べた音の大きさは、高い音のほうが大きいので、高い音のほうが遠くまでよく聞こえると思います。			
	(4) 表3の㊸での音の大きさを(2)のように㊹を基準に比べると、高い音は88%、低い音は91%の大きさと言える。実験2より、低い音のほうが障害物のかげでよく聞こえると分かる。実験1の表2からは高い音のほうが遠くまでよく聞こえると分かるので、鳥は見晴らしのよい木の上では高い音、障害物の多い林の中では低い音で鳴くとよいと思います。			
	(5) 林には木がたくさんあり、1本だけではない。だから実験2では木に見立てた段ボールの数が足りていない。木に見立てた段ボールをもっとたくさん色々な所に置いて、聞こえる音の大きさを調べてみるとよいと思います。			
問 2	「すやすや」は、赤ちゃんや子どもが静かな寝息をたてて心地よく安眠している様子。			
	「ぐっすり」は、老若男女を問わず、疲れて深く熟睡している様子。			
問 3	留学生が真剣に日本のことを考え、日本人が独自の価値観を喪失していることについて鋭く問いかけていることに、共感し感動している。			
問 4	新しいことわざ (例) 海は雨の集まり			
	意味 どんな大きなものも小さなものから出来ていることのとえ			

問 5	記号	(例) ア	オ
	メールの文章が別の意味にとらえられ友人が怒っていると別の友人から知らされた時があり、電話しても出してもらえなかったので、携帯電話で「明日会って話したい」とメッセージを送った。翌日直接会って話すと、身ぶりや表情、声の強弱で自分の感情をよく伝えることができ、理解してもらえた。		
問 6	イ		
問 7	自分ではうまく言い表せない感情がうまくもやもやしたとき、芝居や小説の中にぴったりの表現を見つけて、自分の気持ちをはっきりつかむことができたことで安心するから。		
問 8	伝わらない		
問 9	たとえば、了解を「りよ」と省略したり、チョッキがベストと呼ばれるようになったり、「美しい」という言葉の意味が時代によって変わったりするなど、言葉は時代とともに移り変わるということ。		
問 10	「ねえ、ぴよちゃん」では、70点という同じ点数に対し、ショックを受けたり喜んだり受け取り方や気持ちは様々だ。ますますグローバル化が進む二十一世紀の世界では、他者と自分とが違った考えや価値観を持っている場面に出会うことが多い。差異があることに気づき受け入れることで、新たな視点が生まれたり、自分の考えが深まったりして、お互いに積極的に関わる必要があるということ。		